

横河電機株式会社

# 2019年3月期 第3四半期 連結決算の概要

**対象期間：2018年4月1日～2018年12月31日**

**2019年2月5日**

## ■ 第3四半期実績：増収増益、引き続き堅調に推移

- ・サマリー : 受注が堅調 (前年比+5.4%)、営業利益も堅調
- ・セグメント別 : 制御堅調、計測概ね前年並み、航機その他減収減益
- ・地域別 : 中国堅調、中東・インドは受注が増加
- ・業種別 : 化学堅調継続、Downstreamの受注が増加傾向

## ■ 通期業績予想：修正なし、増収増益の見通し

- ・リスク : 米中関係・中東情勢等によるマクロ経済や投資の急激な減速など

## 1. 2019年3月期 第3四半期 連結決算の概要

## 2. 現状認識と今後の見通し（業績予想：修正なし）

## 3. 決算補足資料

四半期別実績／地域別売上高／営業外・特別損益／受注残推移  
研究開発費・減価償却費・設備投資／貸借対照表

## 4. 参考資料

TF2020目標指標／制御国内海外推移（2009年～2018年）  
トピックス／株価の状況／YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

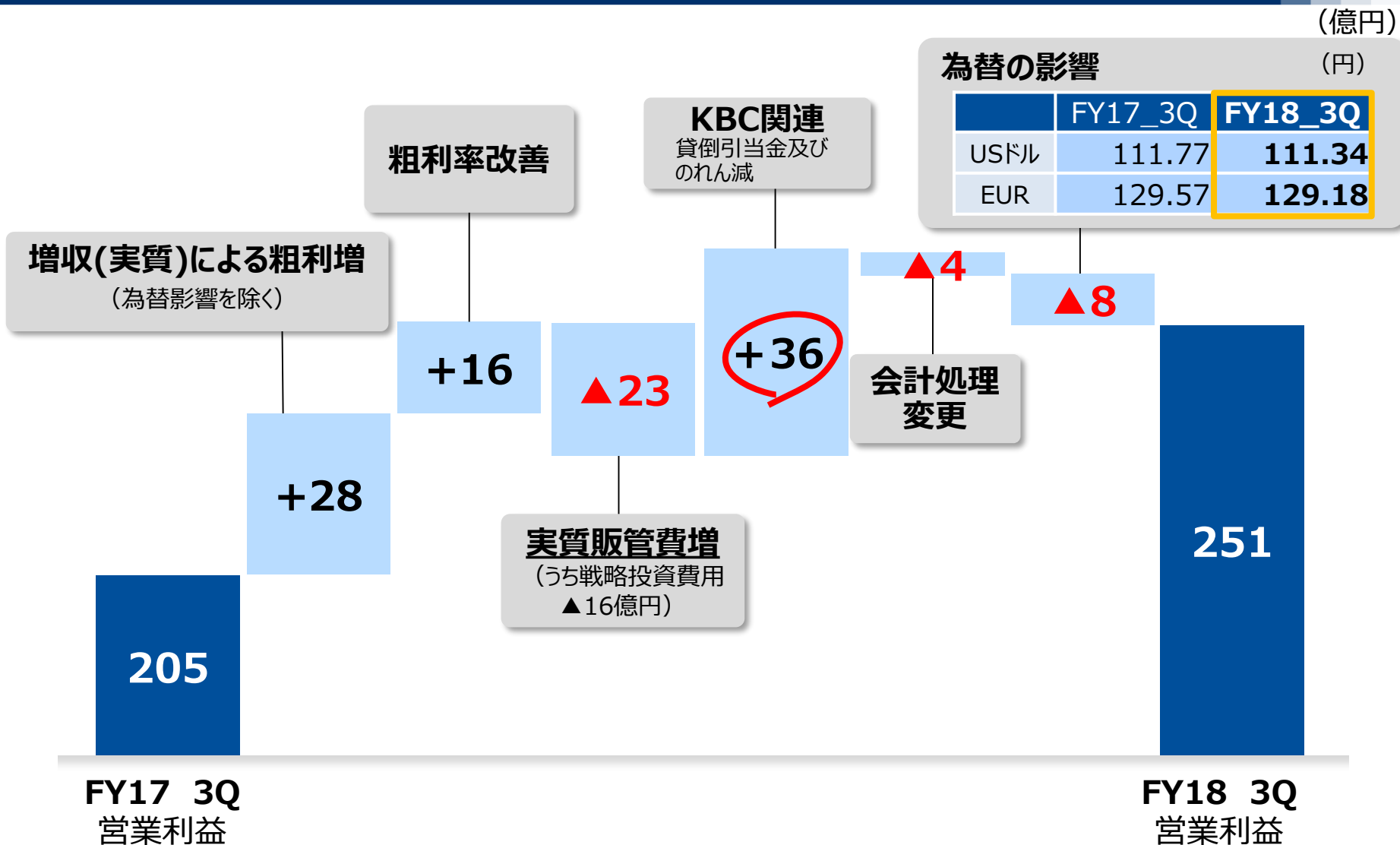
# 決算サマリー（対前年）

- ◆受注・売上 : 制御事業が堅調に推移し、**増加**
- ◆営業利益 : 増収、粗利率の改善、貸倒引当金計上の減少等により、**増益**
- ◆四半期純利益 : 前年同期にのれん等減損損失を計上したこともあり、**大幅増益**

(億円)

	FY17 1Q-3Q	FY18 1Q-3Q	差 異	増減率	為替影響
受 注 高	2,930	<b>3,089</b>	+159	+5.4%	▲55
売 上 高	2,940	<b>2,953</b>	+13	+0.4%	▲52
営 業 利 益	205	<b>251</b>	+46	<b>+22.2%</b>	▲8
ROS(%)	7.0	<b>8.5</b>	+1.5pt	-	-
経 常 利 益	205	<b>261</b>	+56	+26.9%	▲6
親会社株主に帰属 する四半期純利益	87	<b>191</b>	+104	<b>+119.5%</b>	▲5
EPS(円)	32.50	<b>71.38</b>	+38.88	+119.6%	-
為替レート   1米ドル=	111.77円	<b>111.34円</b>	▲0.43	-	-

# 営業利益分析（対前年同期比）



# セグメント別 受注・売上・営業利益

- ◆ 制御事業 : 海外を中心にシステム受注、製品販売が堅調  
増収に加え、日本を中心に粗利率改善、貸倒引当金計上の減少等により増益
- ◆ 計測事業 : 概ね前年並み
- ◆ 航機その他事業 : 減収に加え、粗利率低下により減益

制 御

計 測

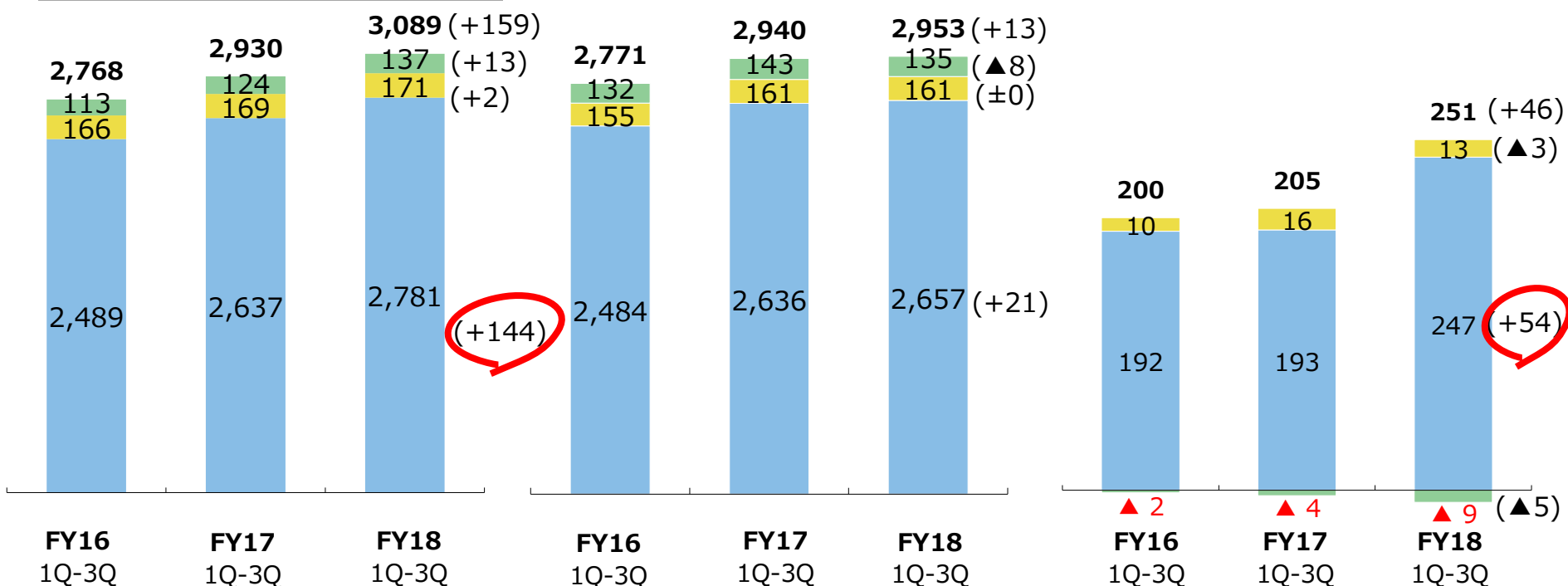
航機その他

(億円)

受注高

売上高

営業利益



# 制御地域別 受注・売上高

- ◆インド・中東を中心に、海外受注が堅調
- ◆中国を中心に、アジアの売上が堅調

(億円)

受注高	FY17 1Q-3Q (A)	FY18 1Q-3Q (B)	前年比 (B-A)
日本	779	776	▲ 3
アジア	898	949	51
(東南アジア・ 極東)	(515)	(489)	▲ 26
(中国)	(303)	(318)	15
(インド)	(80)	(142)	62
欧州・CIS	375	383	8
中東アフリカ	329	391	62
北米	198	218	20
中南米	58	64	6
海外小計	1,858	2,005	147
合計	2,637	2,781	144
為替レート 1米ドル=	111.77円	111.34円	▲ 0.43円

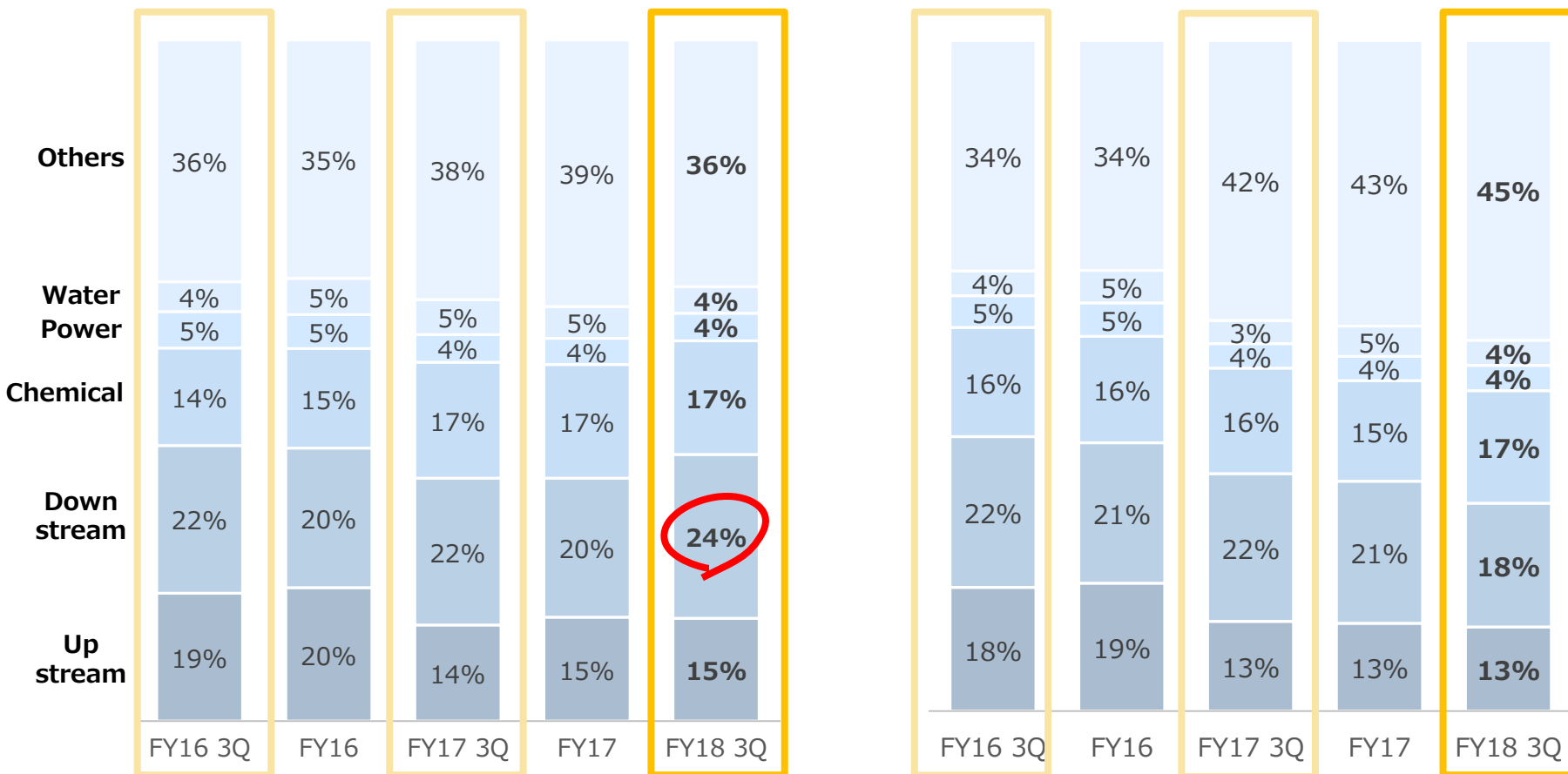
売上高	FY17 1Q-3Q (A)	FY18 1Q-3Q (B)	前年比 (B-A)
日本	749	752	3
アジア	844	892	48
(東南アジア・ 極東)	(490)	(497)	7
(中国)	(272)	(313)	41
(インド)	(82)	(82)	0
欧州・CIS	367	376	9
中東アフリカ	405	358	▲ 47
北米	213	217	4
中南米	59	62	3
海外小計	1,888	1,905	17
合計	2,637	2,657	20
為替レート 1米ドル=	111.77円	111.34円	▲ 0.43円

# <参考> 制御業種別 受注・売上高比率（構成比）

◆ Downstreamの受注が増加傾向

受注

売上



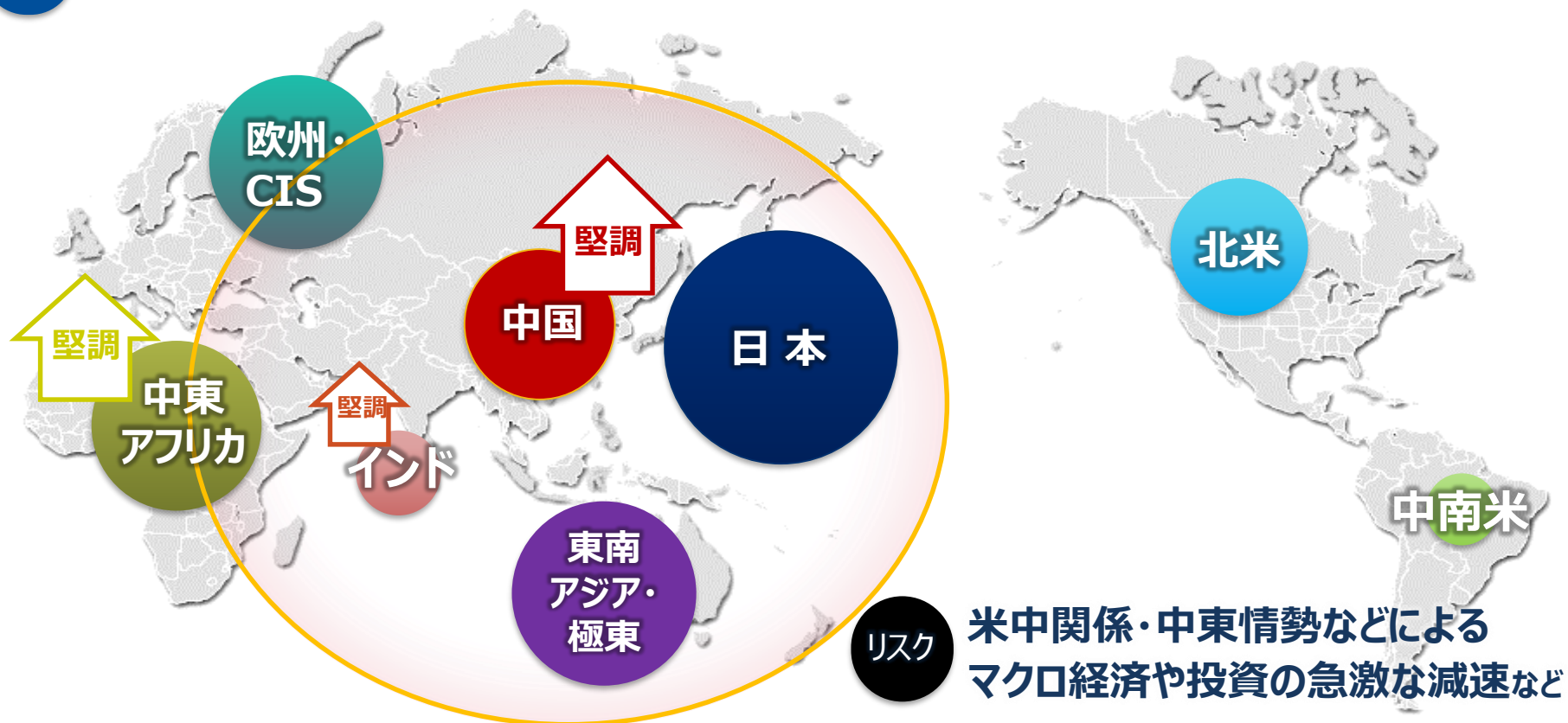


# 現状認識まとめ

市況 生産性向上目的の**OPEX投資が継続**、また**CAPEXも一部で投資の動き**

地域 **中東・インドのシステム受注**、**中国の製品販売が堅調**で、**北米・ロシア**は機会に注目

業種 **化学**（石油化学含む）は**堅調継続**、**Downstreamの受注が増加傾向**、**LNG期待**



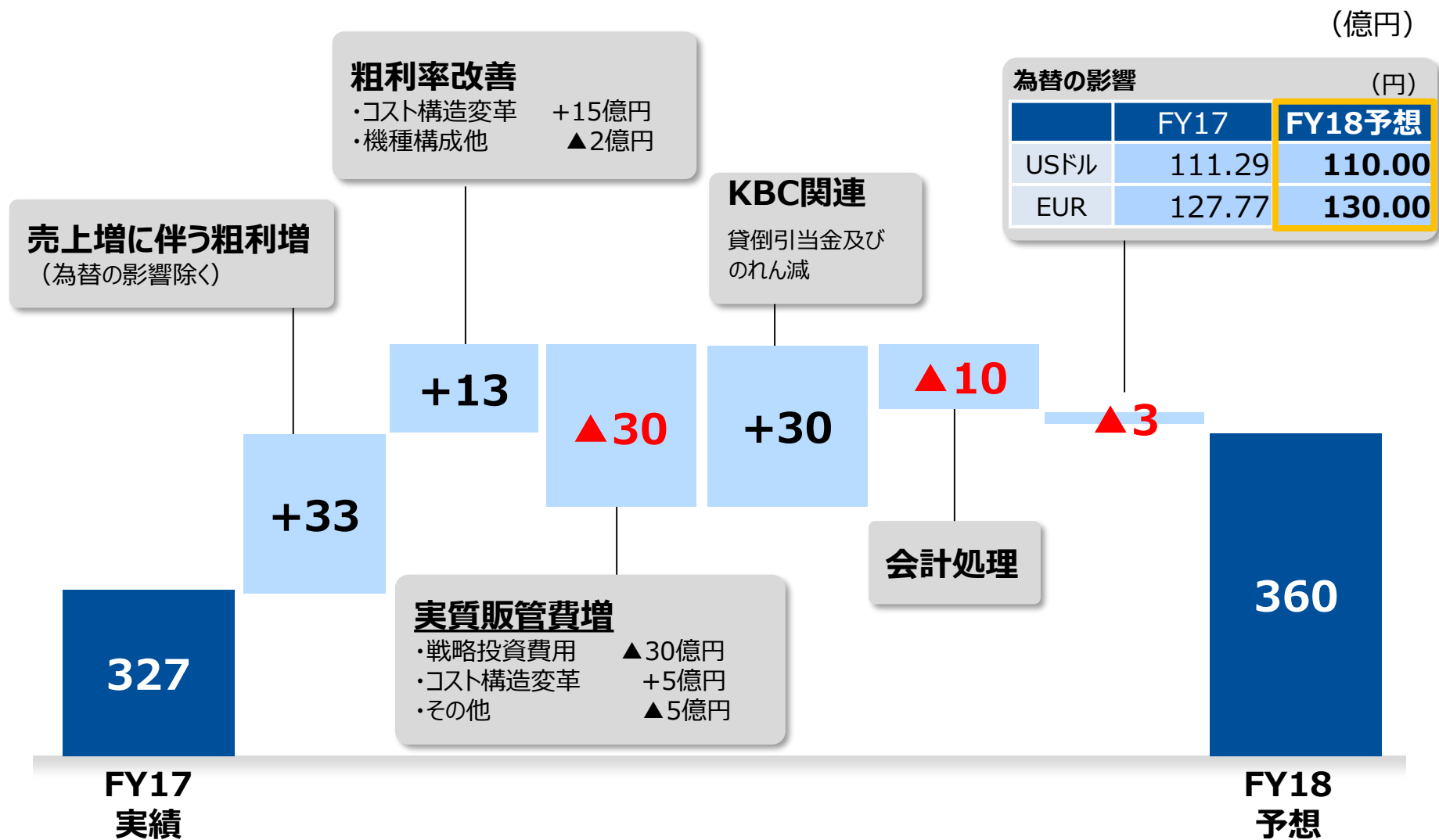
# 業績予想

## ◆FY18：2期連続で増収増益、中計初年度に着実なスタートを切る

(億円)

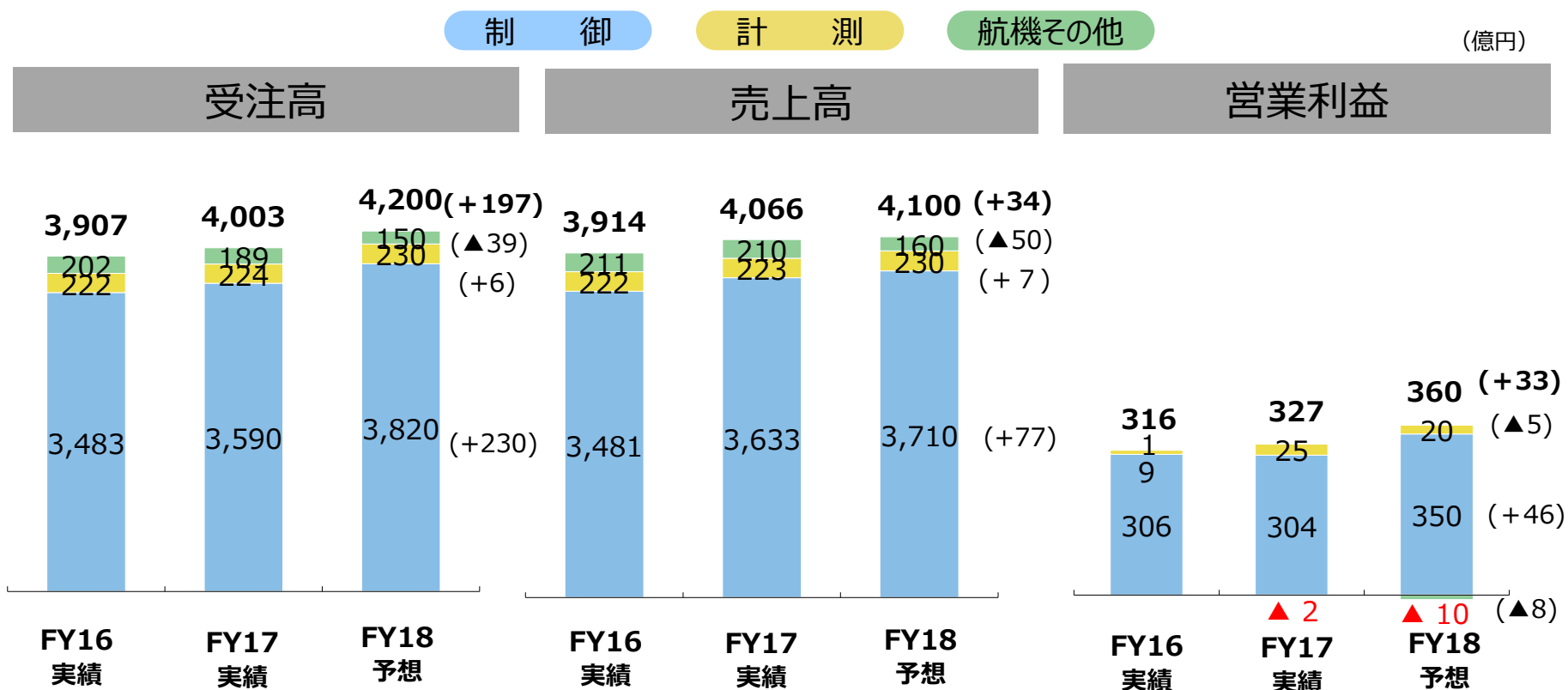
	FY16 実績(A)	FY17 実績(B)	FY18 予想(C)	前年比 (C-B)	伸長率 (C÷B-1)	
受注高	3,907	4,003	<b>4,200</b>	+197	+4.9%	
売上高	3,914	4,066	<b>4,100</b>	+34	+0.8%	
営業利益	316	327	<b>360</b>	+33	+10.1%	
ROS(%)	8.1	8.0	8.8	+0.8pt	—	
経常利益	330	333	<b>360</b>	+27	+8.1%	
税引前利益	355	294	<b>380</b>	+86	+29.3%	
法人税等	97	79	125	+46	+58.2%	
親会社株主に帰属 する当期純利益	258	214	<b>255</b>	+41	+19.2%	
EPS(円)	96.44	80.27	<b>95.50</b>	+15.23	+19.0%	
為替レート	1米ドル=	108.95円	110.70円	<b>110円</b>	▲0.7円	—

# 営業利益増減要因



# セグメント別 受注・売上・営業利益予想

- ◆ 制御事業 : 主に海外の増収、日本で粗利改善、貸倒引当金計上の減少等により、増収増益の見通し
- ◆ 計測事業 : 概ね前年並みの見通し
- ◆ 航機その他事業 : 子会社の株式譲渡および粗利率低下等により、減収減益の見通し



# 制御地域別 受注・売上高 予想

- ◆インド・中東を中心に、海外受注が伸長する見通し
- ◆中国を中心に、海外売上が伸長する見通し

(億円)

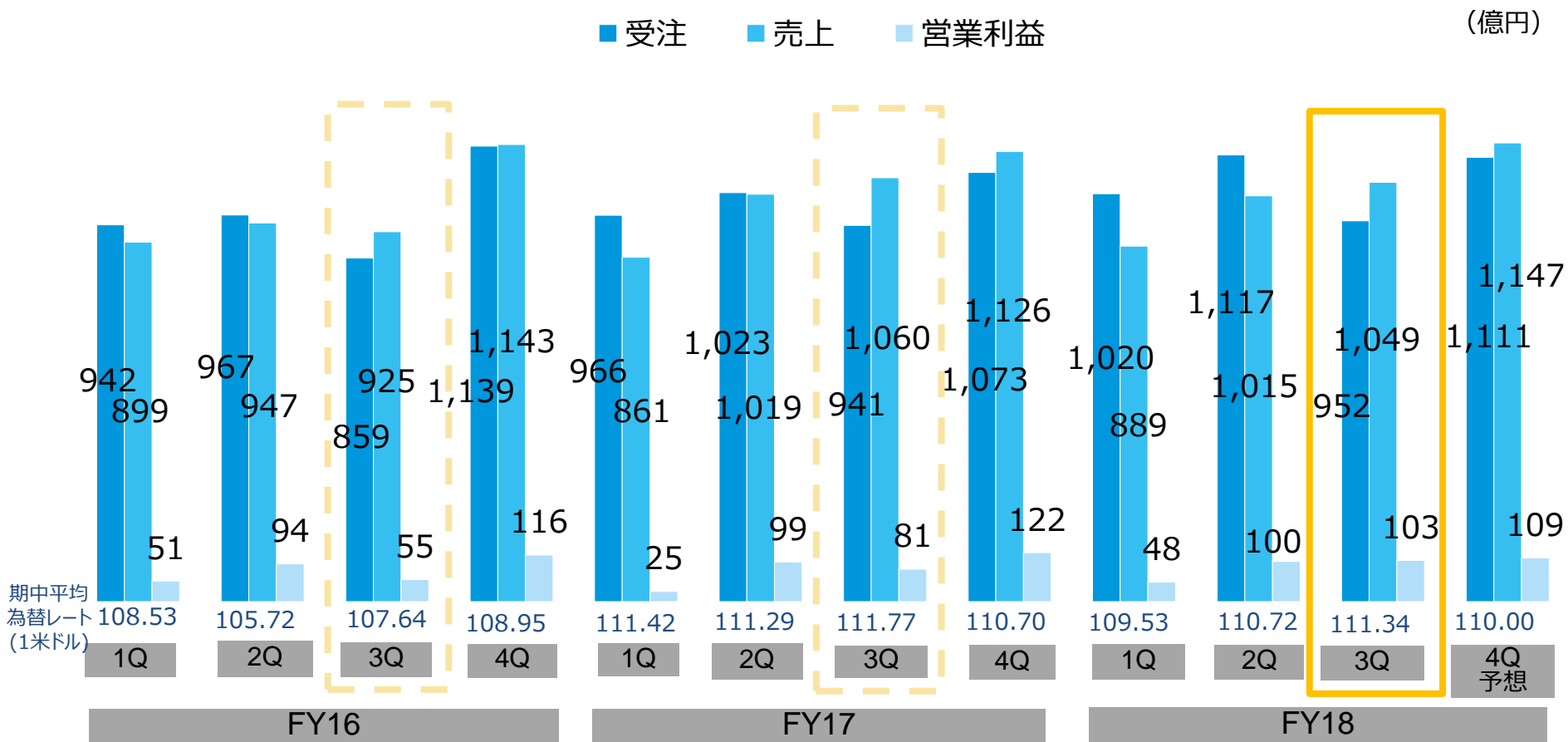
受注高	FY17 実績	FY18予想 (2/5)	前年比	売上高	FY17 実績	FY18予想 (2/5)	前年比
日本	1,073	1,100	27	日本	1,070	1,100	30
アジア	1,180	1,240	60	アジア	1,155	1,215	60
(東南アジア・ 極東)	(665)	(665)	0	(東南アジア・ 極東)	(674)	(680)	6
(中国)	(397)	(415)	18	(中国)	(355)	(405)	50
(インド)	(118)	(160)	42	(インド)	(126)	(130)	4
欧州・CIS	526	580	54	欧州・CIS	522	560	38
中東アフリカ	437	530	93	中東アフリカ	523	470	▲ 53
北米	293	300	7	北米	285	295	10
中南米	81	70	▲ 11	中南米	78	70	▲ 8
海外小計	2,517	2,720	203	海外小計	2,563	2,610	47
合計	3,590	3,820	230	合計	3,633	3,710	77
為替レート 1米ドル=	110.70円	110円	▲ 0.7円	為替レート 1米ドル=	110.70円	110円	▲ 0.7円

# 決算補足資料

- ・四半期別実績
- ・地域別売上高
- ・営業外・特別損益
- ・受注残推移
- ・研究開発費・減価償却費・設備投資
- ・貸借対照表

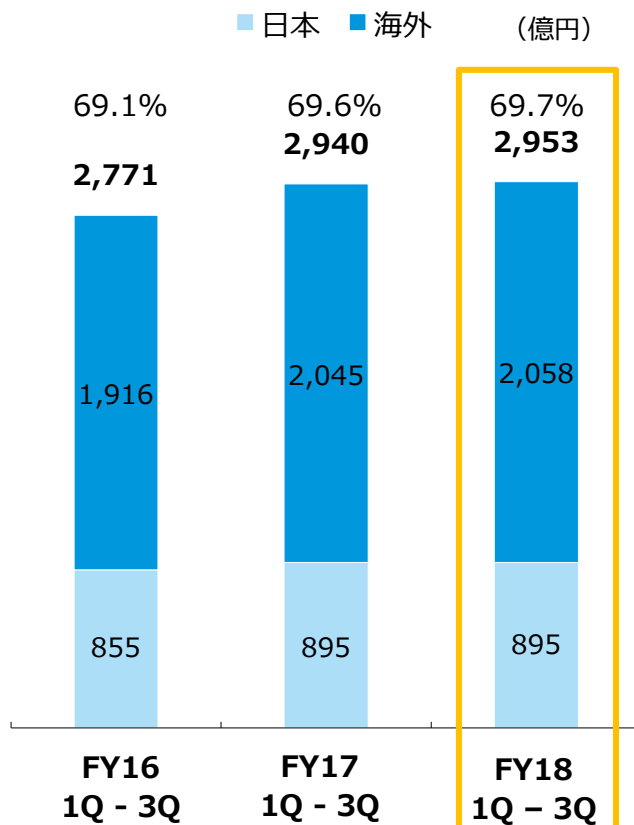
# 補足：四半期別実績

◆売上高・営業利益は、日本の制御事業を中心に2Qおよび4Qに集中傾向

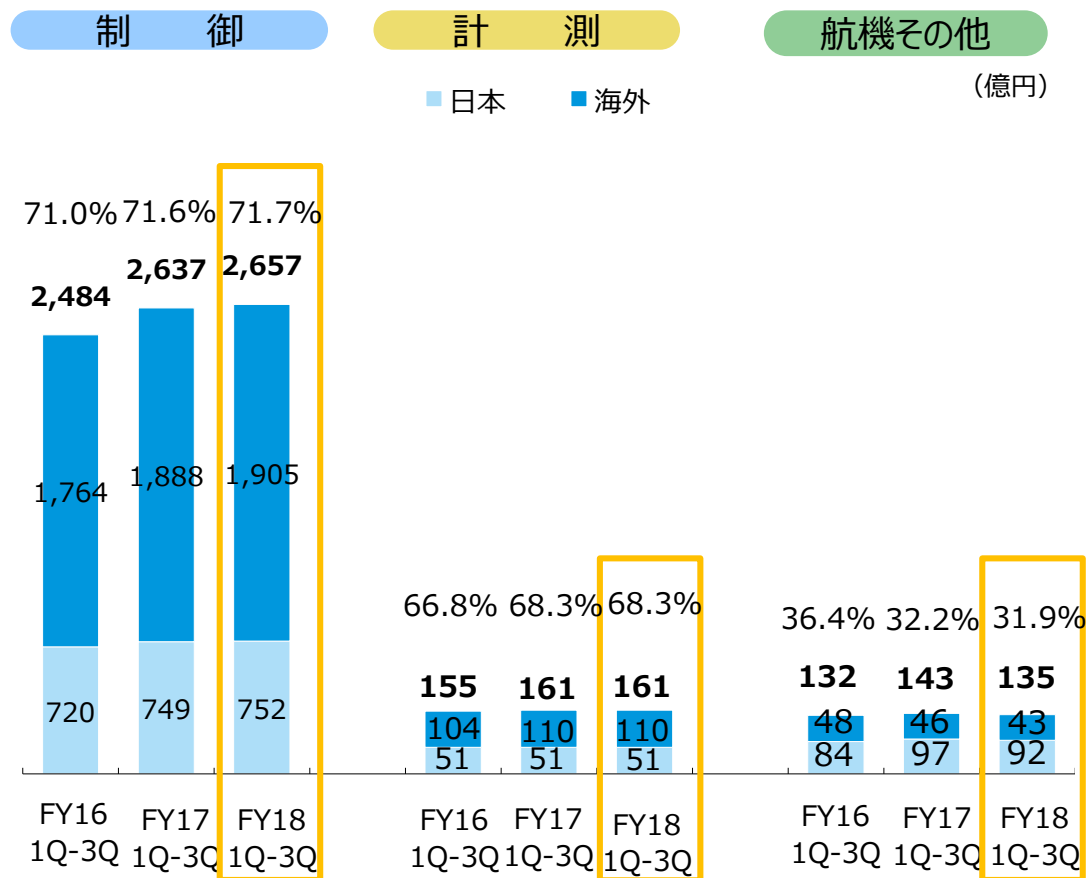


# 補足：地域別売上高

## 全社



## セグメント別





# 補足：営業外・特別損益

(億円)

	FY17 1Q-3Q 実績	FY18 1Q-3Q 実績
営業利益	205	251
営業外収益	25	25
営業外費用	25	15
経常利益	205	261
特別利益	57	25
特別損失	94	2
税引前利益	168	284
法人税等	81	93
親会社株主に帰属する 四半期純利益	87	191

FY17: 固定資産売却益 21億円  
投資有価証券売却益 36億円

FY18: 関係会社株式売却益18億円

FY17: 減損損失 91億円  
(KBC及びIE社のれん等損失89億円他)

(税負担率)

42.0%

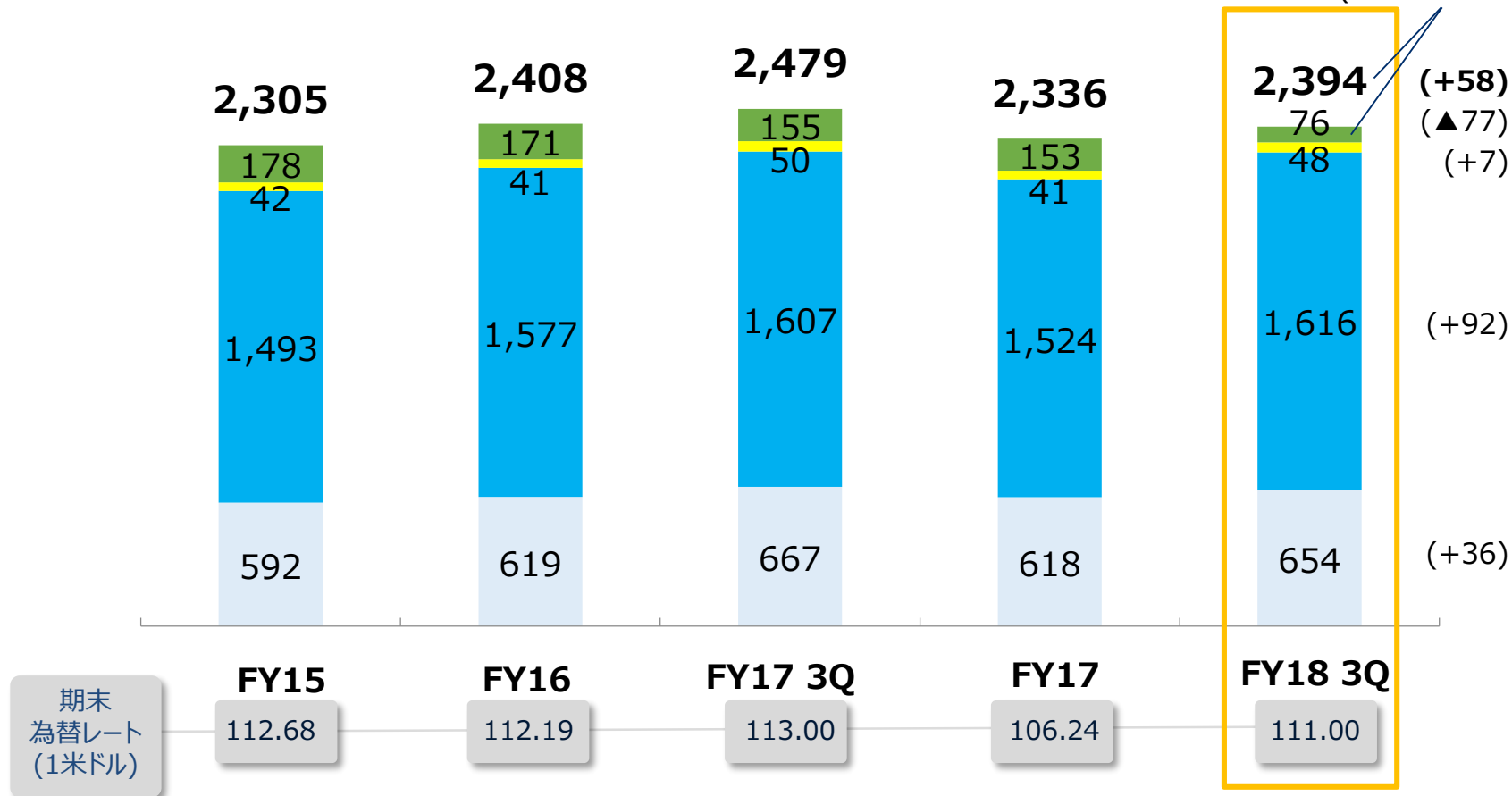
28.4%

# 補足：セグメント別 受注残推移

(億円)

■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 計測 ■ 航機その他

(子会社株式譲渡▲82)

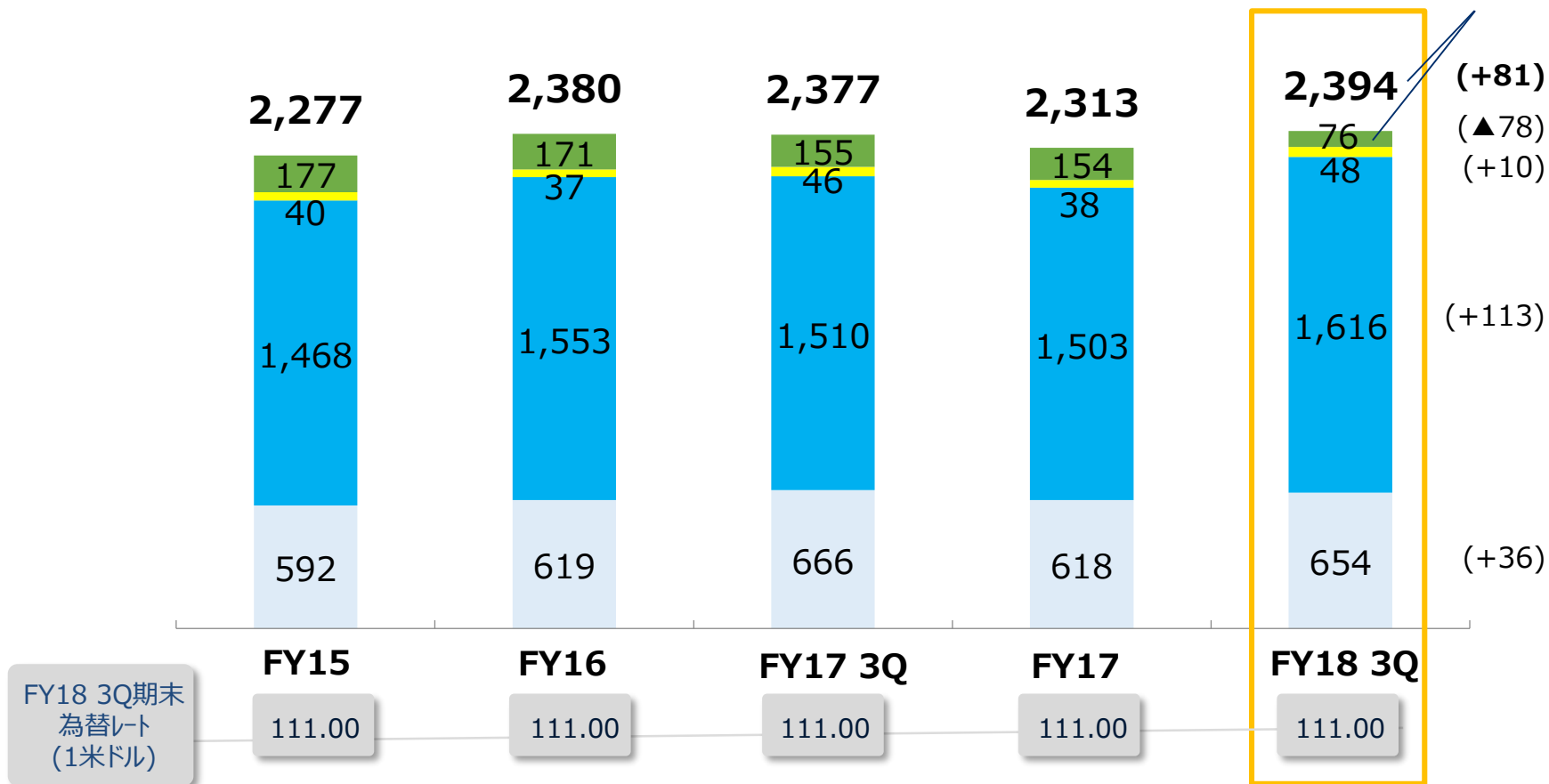


# 補足：セグメント別 受注残推移 \*FY18 3Q期末為替レート換算

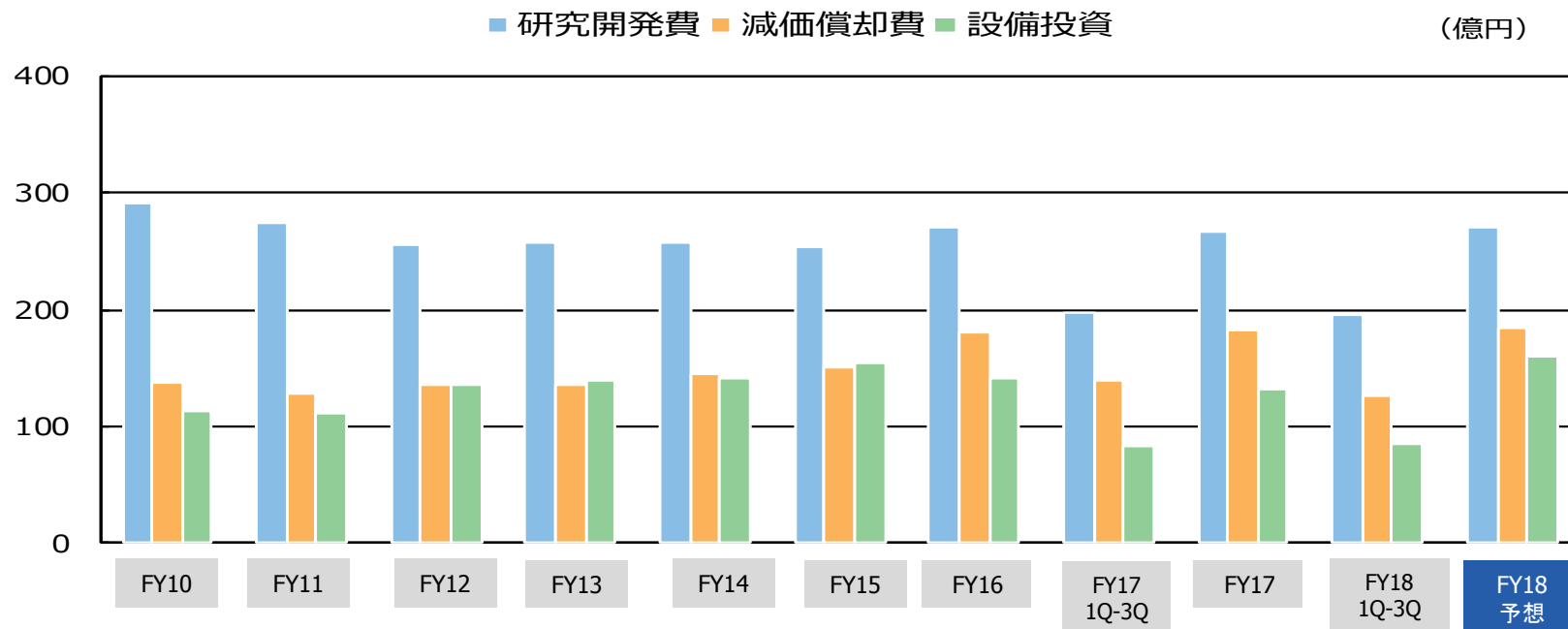
(億円)

■ 制御（日本） ■ 制御（海外） ■ 計測 ■ 航機その他

(子会社株式譲渡▲82)



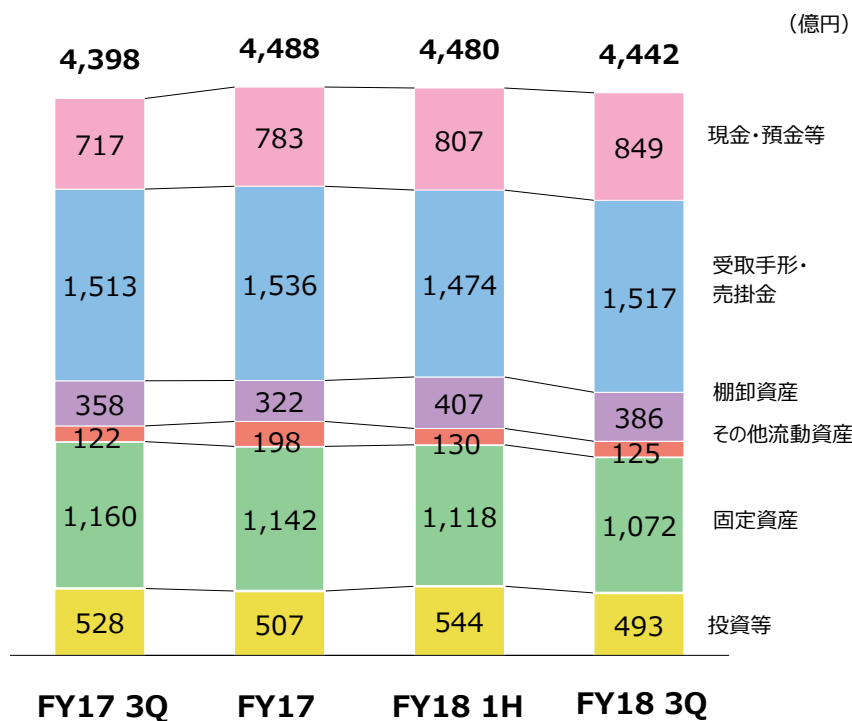
# 補足：研究開発費・減価償却費・設備投資



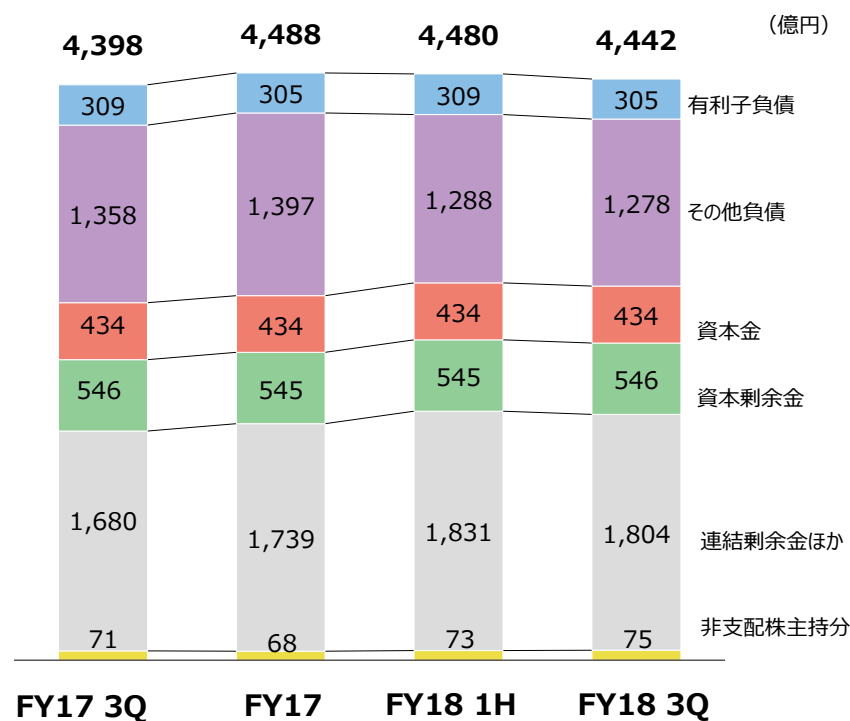
	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17 1Q-3Q	FY17	FY18 1Q-3Q	FY18 予想
研究開発費 (対売上高比率)	292 9.0%	275 8.2%	255 7.3%	258 6.6%	258 6.4%	253 6.1%	271 6.9%	198 6.7%	266 6.5%	<b>196</b> <b>6.7%</b>	270 6.6%
減価償却費 (対売上高比率)	138 4.2%	128 3.8%	135 3.9%	136 3.5%	145 3.6%	151 3.6%	180 4.6%	139 4.7%	183 4.5%	<b>127</b> <b>4.3%</b>	185 4.5%
設備投資 (対売上高比率)	113 3.5%	111 3.3%	135 3.9%	140 3.6%	141 3.5%	154 3.7%	142 3.6%	82 2.8%	132 3.3%	<b>84</b> <b>2.8%</b>	160 3.9%

# 補足：貸借対照表

## 資産



## 負債・資本



Co-innovating tomorrow™

# <ご参考> TF2020経営指標

市場環境が劇的に好転しない前提での受注・売上成長率だが、  
中長期視点の経営を進めるなかでスタートは順調



## ▶ ポイント

- 注力分野の拡大と市場を上回る成長実現
- 市場環境に左右されない収益性向上の実現
- 注力分野への戦略的なリソース投入
- 利益成長、資本効率向上による最大限のキャッシュ創出

## ▶ 目標

受注・売上成長	3～5%/年
EPS成長	7～9%/年*1
ROS	10%以上 (FY20)
ROE	10%以上 (FY20)
オーガニックFCF*2	850億円以上 (3年累計)

想定為替レート（1米ドル）：110円

\*1 成長率は、FY17の一時要因を除いた実質ベース  
(のれん等減損、貸倒引当金計上、資産売却等)

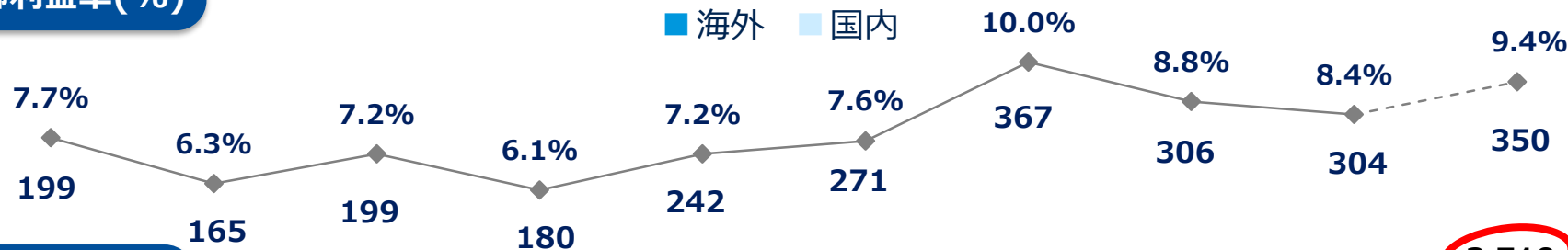
\*2 オーガニックFCF：  
フリーキャッシュフロー(FCF) + 戦略投資(3年累計700億円)

# <ご参考> 制御国内海外 売上高/営業利益/利益率推移

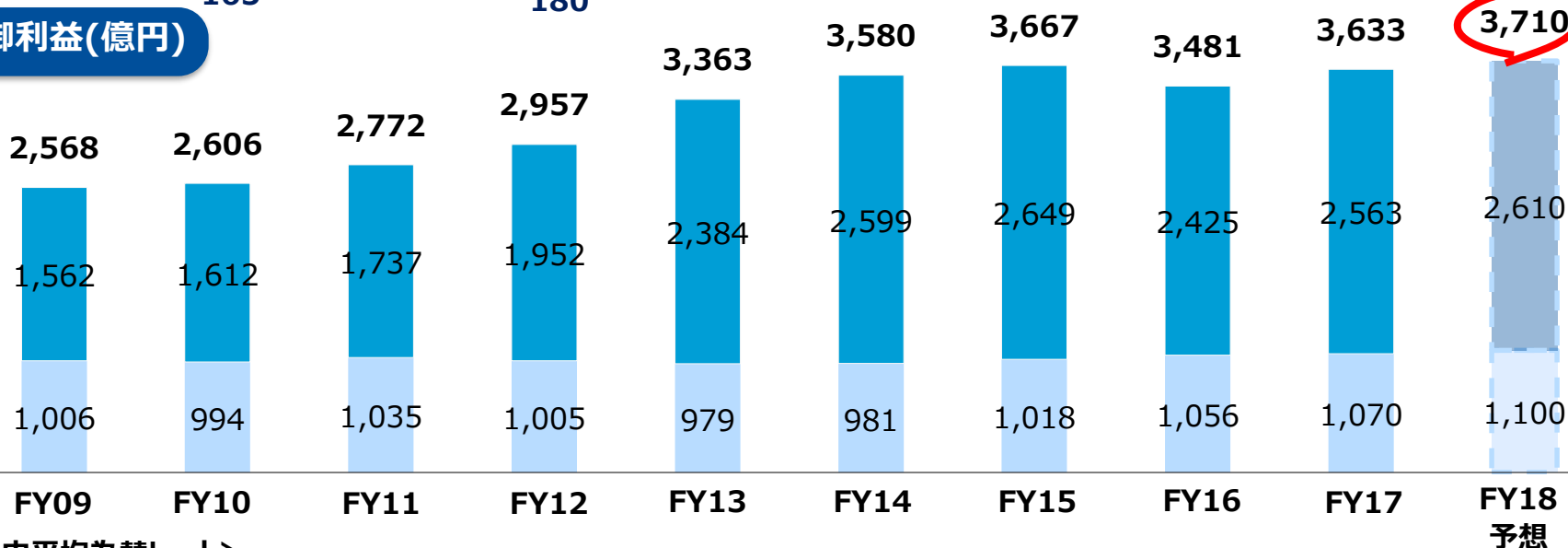
## 制御売上高は過去最高を更新する見通し

(単位：億円)

制御利益率(%)



制御利益(億円)



<期中平均為替レート>

USDドル(¥)	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18予想
	92.61	85.13	78.82	83.33	100.67	110.58	119.99	108.95	110.70	110.00



# <ご参考> トピックス (11/6~2/5)



11月

スペインのバイオ関連企業AlgaEnergyに資本参加し戦略的パートナーシップ契約を締結  
医薬品・食品関連設備のバリデーション業務と計測器・計量器校正の専門企業、  
エヌケイエスの全株式を取得



12月

プラント内の巡回点検作業を支援するソフトウェア「Field Assistant」の機能を拡張した  
「Field Assistant R2.03」を発売

2019年4月1日付代表取締役の異動を決議

西島 剛志 (新役職) 代表取締役会長 (現役職) 代表取締役社長

奈良 寿 (新役職) 代表取締役社長 (現役職) 取締役専務執行役員

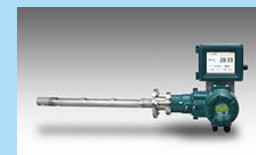
1月

ポンプの劣化防止と保守作業の効率化を支援する「キャビテーション検知システム」を開発・発売

酸素や一酸化炭素ガスの濃度を直接かつ高速に測定するプローブ形レーザガス分析計  
「TDLS8100」を開発

2019年版「世界で最も持続可能な100社 (Global 100)」に選出

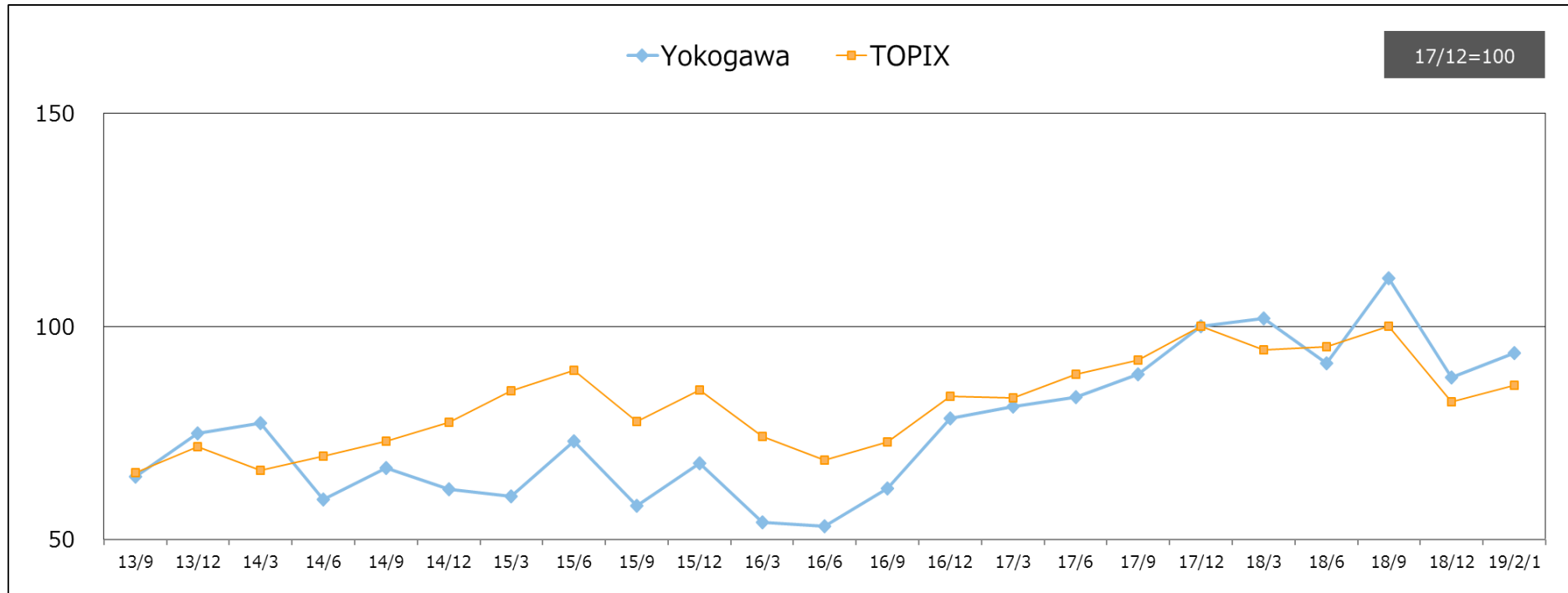
ペルーのProvisur海水淡水化プロジェクト向け制御システムを受注



TDLS8100

※日付は発表月です

# <ご参考> 株価の状況



(円)

	13/9	13/12	14/3	14/6	14/9	14/12	15/3	15/6	15/9	15/12	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/2/1
Yokogawa	1,398	1,615	1,667	1,281	1,442	1,333	1,295	1,574	1,247	1,465	1,163	1,146	1,335	1,693	1,752	1,801	1,916	2,158	2,198	1,972	2,403	1,901	2,021
TOPIX	1,194	1,302	1,203	1,263	1,326	1,407	1,543	1,630	1,411	1,547	1,347	1,245	1,322	1,518	1,512	1,611	1,674	1,817	1,716	1,731	1,817	1,494	1,565

	13/9	13/12	14/3	14/6	14/9	14/12	15/3	15/6	15/9	15/12	16/3	16/6	16/9	16/12	17/3	17/6	17/9	17/12	18/3	18/6	18/9	18/12	19/2/1
Yokogawa	65	75	77	59	67	62	60	73	58	68	54	53	62	78	81	83	89	100	102	91	111	88	94
TOPIX	66	72	66	70	73	77	85	90	78	85	74	69	73	84	83	89	92	100	94	95	100	82	86

# <ご参考>

## YOKOGAWAが採用されているESG関連インデックスなど

2019年1月現在

DJSI-Asia Pacific  
FTSE4Good Index Series  
MSCI ESG Leaders Indexes  
MS-SRI  
FTSE Blossom Japan Index  
MSCIジャパンESG セレクト・リーダーズ指数  
MSCI 日本株 女性活躍指数  
SNAMサステナビリティ・インデックス  
CDP  
世界で最も持続可能な100社 (Global 100)

MEMBER OF  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**  
In Collaboration with RobecoSAM



FTSE4Good



2018 Constituent  
MSCI ESG  
Leaders Indexes



FTSE Blossom  
Japan



2018 Constituent  
MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)



2018 Constituent  
MSCI ジャパンESG  
セレクト・リーダーズ指数

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

当社がこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用すること等を禁じます。

また、本資料には企業連結に係る暫定的な会計処理の確定および税効果会計に係る会計基準の一部改正に伴う過年度訴求修正を反映しておりません。(決算短信とは軽微な相違があります)

## 横河電機株式会社

財務・IR部 IR課

Email : [Yokogawa\\_Electric\\_IR6841@cs.jp.yokogawa.com](mailto:Yokogawa_Electric_IR6841@cs.jp.yokogawa.com)

TEL : 0422-52-6845

URL : <http://www.yokogawa.co.jp/cp/ir/index.htm>